

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】 第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】 平成 19 年 8 月 9 日 (2007.8.9)

【公開番号】 特開 2006-320003 (P2006-320003A)  
 【公開日】 平成 18 年 11 月 24 日 (2006.11.24)  
 【年通号数】 公開・登録公報 2006-046  
 【出願番号】 特願 2006-169153 (P2006-169153)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 Q      7/38      (2006.01)**

**H 0 4 M      3/00      (2006.01)**

**H 0 4 M    15/00      (2006.01)**

【F I】

H 0 4 B      7/26      1 0 9 A

H 0 4 M      3/00              B

H 0 4 M    15/00              G

【手続補正書】  
 【提出日】 平成 19 年 6 月 22 日 (2007.6.22)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信システムで用いられるノードであって、

前記ノードは、通信接続を確立する手順が開始されたユーザ装置に対して確立されたデータベアラーに付随するようになっており、  
 さらに前記ノードは、前記通信接続確立手順が完了するまで、前記ノードを介する前記データベアラーによる前記ユーザ装置への又はそれからのデータの搬送を防止するように受信された命令によって命令されたときにそうするようになっていることを特徴とするノード。

【請求項 2】

前記ノードを通じて前記データベアラーにより搬送される全てのデータパケットをドロップするように受信された命令によって命令されたときにそうするようになっていることを特徴とする請求項 1 に記載のノード。

【請求項 3】

前記ノードを通じて前記データベアラーにより搬送される選択されたデータパケットをドロップするように受信された命令によって命令されたときにそうするようになっていることを特徴とする請求項 1 に記載のノード。

【請求項 4】

前記命令を前記ユーザ装置から受信するようになっていることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載のノード。

【請求項 5】

前記命令は、前記通信システムの呼出し状態制御機能により実行されるようになっていることを特徴とする請求項 4 に記載のノード。

【請求項 6】

前記命令を、前記通信システムの呼出し状態制御機能から受信するようになっていることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載のノード。

**【請求項 7】**

前記命令を示す標識を含む信号を、前記データベアラーに付随するパケットデータプロトコルコンテキストにより受信するようになっていることを特徴とする請求項 1 から請求項 6 のいずれか 1 項に記載のノード。

**【請求項 8】**

前記標識をフラグの形態で受信するようになっていることを特徴とする請求項 7 に記載のノード。

**【請求項 9】**

前記命令を前記データベアラーに対するフィルタリングパラメータの形態で受信するようになり、  
さらに、前記フィルタリングパラメータに基づいて、全ての又は選択されたデータパケットを前記データベアラーから濾過するようになっていることを特徴とする請求項 1 から請求項 8 のいずれか 1 項に記載のノード。

**【請求項 10】**

前記フィルタリングパラメータは、トラフィック・フロー・テンプレート・パラメータを含むことを特徴とする請求項 9 に記載のノード。

**【請求項 11】**

前記フィルタリングパラメータを前記ユーザ装置から受信するようになっていることを特徴とする請求項 9 又は請求項 10 に記載のノード。

**【請求項 12】**

前記フィルタリングパラメータは、前記通信システムの呼出し状態制御機能により制御されるようになっていることを特徴とする請求項 9 から請求項 11 のいずれか 1 項に記載のノード。

**【請求項 13】**

前記データ搬送を防止する前記命令を取り消すように更なる受信された命令によって命令されたときにそうするようになっていることを特徴とする請求項 1 から請求項 12 のいずれか 1 項に記載のノード。

**【請求項 14】**

前記更なる命令を、前記データ搬送を防止する前記命令と同じ発信元から、及び、同じ媒体により受信するようになっていることを特徴とする請求項 13 に記載のノード。

**【請求項 15】**

前記データベアラーの少なくとも一部を、前記ユーザ装置と前記通信システムの送受信機ノードとの間の無線インタフェース上に確立できるようにするようになっていることを特徴とする請求項 1 から請求項 14 のいずれか 1 項に記載のノード。

**【請求項 16】**

前記ノードは、前記通信システムの無線ネットワークコントローラ、コアネットワークコントローラ及びゲートウェイのうちの 1 つであることを特徴とする請求項 1 から請求項 15 のいずれか 1 項に記載のノード。

**【請求項 17】**

前記ノードは、第 3 世代セルラー式移動通信ネットワークのノードであることを特徴とする請求項 1 から請求項 16 のいずれか 1 項に記載のノード。

**【請求項 18】**

パケットデータネットワーク上の音声通信をサポートするようになっていることを特徴とする請求項 1 から請求項 17 のいずれか 1 項に記載のノード。

**【請求項 19】**

前記通信接続確立手順の完了前に何らかのデータが前記確立されたデータベアラー上で搬送されたかを判断するようになっていることを特徴とする請求項 1 から請求項 18 のいずれか 1 項に記載のノード。

**【請求項 20】**

前記通信接続確立手順の完了までの料金に関連する課金情報は、確立された通信接続に

関連する課金情報から分離されるようになっていることを特徴とする請求項 19 に記載のノード。

【請求項 21】

第 1 の課金記録又は第 1 の課金記録セットは、前記通信接続確立手順の完了までの料金に対して割り当てられ、また、第 2 の課金記録又は課金記録セットは、前記確立された通信接続に関連する課金情報に対して割り当てられ、

前記第 1 の記録又は記録セットは、前記通信接続確立手順の完了を示す信号に応答して閉じられる、  
ようになっていることを特徴とする請求項 20 に記載のノード。

【請求項 22】

前記通信接続確立手順の完了前に何らかの課金可能なデータ伝送が発生したか否かを分析するようになっていることを特徴とする請求項 19 から請求項 21 のいずれか 1 項に記載のノード。

【請求項 23】

通信システムで用いられるノードであって、

前記ノードは、通信接続を確立する手順が開始されたユーザ装置に対して確立されたデータベアラーに付随するようになっており、  
さらに前記ノードは、前記通信接続確立手順が完了したという指示を受信し、そして前記指示の受信に応答して、前記通信接続確立手順の完了前の前記データベアラー上でのデータ搬送の課金に関連する課金記録手段を閉じるようになっていることを特徴とするノード。

【請求項 24】

前記指示の受信に応答して、前記確立手順が完了した後の料金に関連する情報を記憶するための更なる課金記録手段を開くようになっていることを特徴とする請求項 23 に記載のノード。

【請求項 25】

前記課金記録手段及び前記更なる課金記録手段は、両方とも記録のセットを含むことを特徴とする請求項 24 に記載のノード。

【請求項 26】

前記指示を、前記ユーザ装置から受信するようになっていることを特徴とする請求項 23 から請求項 25 のいずれか 1 項に記載のノード。

【請求項 27】

前記通信システムの呼出し状態制御機能から通知を受信するようになっていることを特徴とする請求項 23 から請求項 26 のいずれか 1 項に記載のノード。

【請求項 28】

前記通信接続確立手順の完了前に何らかの課金可能なデータ伝送が前記データベアラー上で発生したか否かを分析するようになっていることを特徴とする請求項 23 から請求項 27 のいずれか 1 項に記載のノード。

【請求項 29】

前記指示は、パケットデータプロトコルコンテキストの変更を要求するメッセージに含まれることを特徴とする請求項 23 から請求項 28 のいずれか 1 項に記載のノード。

【請求項 30】

前記指示は、フラグを含むことを特徴とする請求項 29 に記載のノード。

【請求項 31】

請求項 1 から請求項 22 のいずれか 1 項による前記データベアラーを用いたデータの伝送を防止するようになっていることを特徴とする請求項 23 から請求項 30 のいずれか 1 項に記載のノード。

【請求項 32】

通信システムで用いられる制御手段であって、

前記制御手段は、前記通信システムを介する、ユーザ装置に対する通信接続を確立する

手順を開始するようになっており、

さらに前記制御手段は、命令を生成し、そして前記ユーザ装置に対して前記通信システムの少なくとも1つのノードを通じて確立されたデータベアラーに付随する前記少なくとも1つのノードに前記命令を信号で通信するようになっており、

前記命令は、前記データベアラーによる前記ユーザ装置への又はそれからのデータの搬送が防止されることを示すようになっており、

前記データベアラーに付随する前記少なくとも1つのノードは、前記命令信号に応答して前記ユーザ装置への又はそれからのデータの搬送を防止する、ことを特徴とする制御手段。

【請求項33】

前記データ搬送を可能にする第2の命令を生成して信号で通信するようになっていることを特徴とする請求項32に記載の制御手段。

【請求項34】

前記制御手段は、呼出し状態制御機能（CSCF）および前記ユーザ装置のうちの1つであることを特徴とする請求項32または請求項33に記載の制御手段。

【請求項35】

前記制御手段は前記CSCFであり、前記CSCFは、ポリシー制御機能（PCF）を通じて前記少なくとも1つのノードに前記命令を信号で通信するようになっていることを特徴とする請求項34に記載の制御手段。